

# 平成30年度コミュニティ・スクール推進事業研修会

## (コミュニティ・スクール推進フォーラム兼 第2回コミュニティ・スクール連絡協議会)開催報告

1. 目的 学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の有効的な取組に係る講演や事例発表をとおして、県立学校や市町における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資する。
2. 主催 滋賀県教育委員会
3. 対象 (1) 公立幼稚園・小・中学校教職員、県立学校教職員  
(2) 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)関係者、学校評議員  
(3) 地域学校協働本部・地域未来塾関係者・土曜日の教育支援活動関係者  
(4) 放課後子ども教室関係者・放課後児童クラブ関係者  
(5) 家庭教育支援活動関係者・子育て支援機関関係者  
(6) PTA、県・各市町社会教育委員、公民館職員  
(7) 各市町担当職員  
(8) 学校と地域の連携・協働体制について関心のある地域住民 など

### 4. 日時・会場・参加者数

- 南部会場：平成30年8月9日(木) 13:30~16:45  
滋賀県庁東館7階大会議室  
参加者数 94名
- 北部会場：平成30年8月17日(金) 13:30~16:45  
米原市米原公民館2AB研修室  
参加者数 107名

### 5. 日程

- 事例発表(南部) 「特別支援学校における学校運営協議会の取組  
~こんないいことがありました!~」  
京都市立西総合支援学校 校長 富家 直樹 氏
- 事例発表(北部) 「地域密着型高校の発展を目指して」  
三重県立南伊勢高等学校(度会校舎)  
准校長 森 典英 氏
- 講演(両日・両会場)  
演題：「今、なぜコミュニティ・スクールなのか?」  
講師：文部科学省初等中等教育局視学委員  
全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問  
元三鷹市教育長 貝ノ瀬 滋 氏
- グループディスカッション[コミュニティ・スクール連絡協議会](両日・両会場)

### 6. 概要

- ・両会場いずれも高校や特別支援学校での取組から学んでいただくために、県外取組先進校から発表いただいた。講師の先生にはグループディスカッションにも御参加いただき、参加者の学びを深める機会となった。
- ・両会場とも貝ノ瀬 滋氏に御講演いただいた。学校運営協議会制度、全国に先駆けて取り組まれた実践、また豊富な経験に基づく的確な目標設定と助言等、今後取り組むべきこと等を丁寧に御示唆いただいた。
- ・参加者所属別でのグループディスカッションでは、講師やCSアドバイザーによるファシリテートのもと、制度や取組についての疑問、導入・推進にあたっての不安や悩み等、意見交換を行い熱心な議論が展開された。

### 7. 参加者のアンケートより

- 導入間もないところにも、歴史があるところにもわかりやすい講演であった。手段と目的を念頭に置くことで内容のある有意義な組織づくりができると感じた。
- 『今、なぜコミュニティ・スクールなのか?』ということは必然的な動きであり、大きな未来、希望を見せていただいた気がする。子どもたちが幸せに豊かに生きていける社会にもっとなるように、私にできることをできる範囲でしていきたい。
- グループディスカッションでは各校の取組や悩みを聴くことができ、同感する面があった。参加者から様々な「エキス」を吸収することができた。もっと交流の時間がほしいと思った。
- 各地域での取組を聞き、一步踏み出すためのヒントをいただいたように思う。子どもを地域で育むための共通の理解が生まれたように感じる。

